

目次

序章	ネパールにおける中退問題の背景と研究目的	1
第1節	問題の所在と研究の目的	1
第2節	本研究を構成	3
第3節	研究の重要性と意義	7
1.	学術的な意義	7
2.	実践的な意義	8
第4節	問題の設定	9
第1部	中退リスクのある児童に関する理論的な枠組み および先行研究とネパールの教育制度・現状	(11-84)
第1章	概念的な枠組みと理論的な枠組みと研究方法	12
第1節	概念的な枠組み	12
第2節	理論的な枠組み	14
第3節	用語の定義	18
1.	中途退学・中退	18
2.	中退リスクのある児童	19
第4節	論文の概要	20
第5節	研究方法の概要	21
1.	調査の概要と全体的なデザイン	21
2.	研究における諸手続と倫理的配慮	24
3.	データの信頼性、転用可能性と確認可能性	24
第2章	先行研究の検討	27
第1節	中退に関する先行研究	27
1.	世界の中退問題の現状	28
2.	南アジアの中退問題の現状	29
3.	ネパールの中退問題の現状	30
第2節	様々な中退要因	31
1.	マクロ構造的な中退要因	32
2.	家庭内の中退要因	35
3.	中退に関する子どもの個人的な要因	44
4.	中退に関する学校要因	46
5.	中退に関わる教員の要因	51
6.	中退に関する友人の要因	53
第3節	考察とまとめ	55
第3章	ネパールの教育制度と現状	58
第1節	学校制度の歴史	60
1.	学校教育史	60
2.	学校教育制度	63
3.	ネパールの教育問題についての研究	65
第2節	初等教育の現状	66
1.	学校数	68
2.	教育の予算と学費	71
第3節	ネパールにおける EFA 目標達成の現状と課題	73
1.	ネパールにおける EFA の実態	74
2.	今後の政策課題	79

第4節	考察とまとめ	82
第2部 中退リスクのある児童の特徴と児童の中退・中退リスクに影響する規定要因…		
(85-222)		
第4章	中退リスクのある児童の特徴	86
第1節	問題背景と現状	86
第2節	調査概要と調査方法	88
1.	調査概要	88
2.	調査方法	88
3.	対象者（児童）のバックグラウンド	90
第3節	分析結果	91
1.	学校生活の満足度と中退リスクの階層	91
2.	中退リスクのある児童の特徴	93
第4節	考察とまとめ	108
第5章	中退リスクに対する学校と教員の影響	114
第1節	問題背景と現状	114
第2節	分析結果	116
1.	中退リスクに対する学校の影響	117
2.	中退リスクへの教員の影響	123
3.	経済階層の統制後の「中退リスク」と「学校・教員要因」の関係	132
第3節	考察とまとめ	147
第6章	教員-児童間のコミュニケーションの問題と中退リスク	153
第1節	問題背景と現状	153
第2節	調査概要と調査方法	155
1.	調査概要	155
2.	調査方法	156
第3節	分析結果	157
1.	対象校の実態と中退現状	158
2.	授業観察	159
3.	半構造化インタビュー調査の対象者（校長・教員）について	160
4.	インタビューの回答の集計	161
5.	教員-児童間コミュニケーションの不足の主な5つの要因	162
第4節	考察とまとめ	167
第7章	児童の中退リスクに対する友人の影響—中退者であるストリートチルドレンの事例—	174
第1節	問題背景と現状	174
第2節	調査概要と調査方法	176
1.	調査概要	176
2.	調査方法	177
3.	調査対象者（ストリートチルドレン）について	179
4.	インタビュー調査対象者（NGO）について	180
第3節	分析結果	180
1.	FGD 調査の結果分析	181
2.	ケーススタディ（2ケース）	187
3.	NGOの関係者におけるインタビュー調査結果分析	190
第4節	考察とまとめ	192

第8章	公立学校における中退率が最も高い学校と低い学校の違い	194
第1節	問題背景と現状	194
第2節	調査概要と調査方法	196
1.	調査概要	196
2.	調査方法	197
3.	調査の対象者（校長）の状況	197
第3節	分析結果	198
1.	中退率の低い学校 A について	199
2.	中退率の低い学校 B について	206
3.	中退率の高い学校 C について	209
4.	中退率の高い学校 D について	214
第4節	考察とまとめ	218
第3部	結果のまとめと今後の課題	(223-236)
終章		224
第1節	研究結果のまとめ	224
第2節	本研究の貢献	232
1.	学術的貢献	233
2.	実践的貢献	233
3.	社会的貢献	234
第3節	研究のリミテーション（限界）	234
第4節	本研究の示唆	235
第5節	今後の課題	236
参考文献		237
参考資料		
謝辞		